

かみす 市議会だより

◆発行：神栖市議会 神栖市議会だより編集委員会 〒314-0192 茨城県神栖市溝口4991-5
TEL.0299-90-1172(直) FAX.0299-90-1116 ◆ホームページアドレス <http://kamisu.gsl-service.net/>



5月17日(土)に神栖市議会議員研修会が開催されました。
テーマ「市民のための議会力進化・深化に向けて」→内容：P18



〈目次〉

- 定例会議決結果一覧
及び議員による賛否一覧……P. 2～4
- 一般質問……P. 5～12
- 委員会での主な質疑内容……P. 13
- 議案第5号特集記事……P. 14～15
- 行政視察調査、議員研修会…P. 16～18
- 表彰状の贈呈……P. 19
- 市議会のうごき……P. 20

【特集】 賛否分かれる

今回の定例会で注目の議案第5号(土地の取得について) 災害廃棄物仮置場用地の土地取得を巡って、賛否が分かれました。

詳細はP14～15



令和7年神栖市議会・第2回定例会

令和7年第2回定例会を6月10日から6月24日までの会期15日間の日程で開き、条例に関するもの6件、土地の取得に関するもの1件、予算に関するもの2件、市道路線に関するもの2件、規約の変更に関するもの1件、報告に関するもの5件、請願1件、意見書案1件の計19件の審議を行いました。

議案等議決結果一覧

議案番号	件名	議決結果
議案第1号	神栖市職員の育児休業等に関する条例及び神栖市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第2号	令和7年度神栖市一般会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第3号	神栖市道路線の認定について	原案可決
議案第4号	神栖市道路線の変更について	原案可決
議案第5号	土地の取得について ・災害廃棄物仮置場用地	原案可決
議案第6号	鹿島地方事務組合理約の変更について	原案可決
議案第7号	専決処分の承認を求めることについて ・神栖市税条例の一部を改正する条例	承認
議案第8号	専決処分の承認を求めることについて ・神栖市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	承認
議案第9号	神栖市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第10号	神栖市の議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第11号	令和7年度神栖市一般会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第12号	神栖市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
報告第1号	令和6年度神栖市一般会計継続費繰越計算書	報告済
報告第2号	令和6年度神栖市一般会計繰越明許費繰越計算書	報告済
報告第3号	令和6年度神栖市一般会計事故繰越し繰越計算書	報告済
報告第4号	令和6年度神栖市下水道事業会計予算繰越計算書	報告済

議案等議決結果一覧

議案番号	件名	議決結果
報告第5号	公益財団法人神栖市文化・スポーツ振興公社の令和6年度事業報告及び決算並びに令和7年度事業計画及び収支予算について	報告済
請願第2号	ひきこもり基本法の制定を求めるための意見書採択を求める請願	採 択
意見書案第1号	ひきこもり基本法の制定を求める意見書	原案可決

〈議員による賛否一覧〉

件名		山中	鈴木一史	鈴木洋美	笹本浩史	横田幸治	遠藤富美子	幸保正東	山本実	神崎誠司	小野トシ子	須田光一	石井由春	境川幸雄	額賀優	高橋佑至	西山正司	鈴木康弘	遠藤貴之	後藤潤一郎	五十嵐清美	関口正司	飯田耕造	伊藤大	
議案第1号	神栖市職員の育児休業等に関する条例及び神栖市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	令和7年度神栖市一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	神栖市道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	神栖市道路線の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	土地の取得について ・災害廃棄物仮置場用地	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	×	×	○	○	×	×
議案第6号	鹿島地方事務組合理約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	専決処分の承認を求めることについて ・神栖市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	専決処分の承認を求めることについて ・神栖市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

〈議員による賛否一覧〉

件名		山中	鈴木一史	鈴木洋美	笹本浩史	横田幸治	遠藤富美子	幸保正東	山本実	神崎誠司	小野田トシ子	須田光一	石井由春	境川幸雄	額賀優	高橋佑至	西山正司	鈴木康弘	遠藤貴之	後藤潤一郎	五十嵐清美	関口正司	飯田耕造	伊藤大
議案第9号	神栖市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	神栖市の議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	令和7年度神栖市一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	神栖市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第2号	ひきこもり基本法の制定を求めるための意見書採択を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案第1号	ひきこもり基本法の制定を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席 -：議長】

※ 議長の表決権：過半数議決の場合、議長には表決権がありません。ただし、賛成反対が同数の場合、可決か否決か決定することになります。



(C) 神栖市

議会の傍聴について

市議会はどこでも傍聴できます。受付で、住所、氏名等を記入するだけです。どうぞお気軽にお越しください。

(今後の状況に応じて取扱いが変更になる場合があります。)

なお、本会議の様子は、神栖市議会ホームページからインターネット中継及び録画中継によりご覧いただけます。

一般質問



録画中継

市政を問う!

令和7年第2回定例会の一般質問は6月11日から13日に渡って行われ、13人の議員が市政全般について、市長はじめ関係部長等に見解を問いました。なお、掲載にあたっては一問一答形式で編集し、要旨を掲載しております。詳細については、後日、会議録が神栖市議会ホームページに掲載されます。

(例)

○議員名

(質問方式)

- ・ 主な質問事項

1日目：6月11日（水）

○高橋 佑至 議員

(一問一答方式)

- ・ 知る権利について
- ・ 自治体運営について

○鈴木 康弘 議員

(一問一答方式)

- ・ 市政運営について

○鈴木 洋美 議員

(分割方式)

- ・ 学校における防犯対策について
- ・ 高齢者支援について

○山中 要 議員

(一問一答方式)

- ・ 子どものサポート体制について
- ・ 教職員の働き方改革について
- ・ 児童の安全対策について

○遠藤 貴之 議員

(一括質問方式)

- ・ 合併20年をふりかえって

2日目：6月12日（木）

○小野田 トシ子 議員

(分割方式)

- ・ 高齢者の利用しやすい交通手段の確保について
- ・ 地区加入者限定のかみすポイントカードについて
- ・ デフリンピック支援と共生社会の推進について

○遠藤 富美子 議員

(分割方式)

- ・ 奨学金返還支援制度の導入について
- ・ 介護支援専門員の負担軽減について
- ・ 健康寿命を支える「歯と口の健康」の推進について

○山本 実 議員

(一括質問方式)

- ・ 職員のメンタルヘルスについて
- ・ 会計年度任用職員の採用など現状と改善について
- ・ 情報セキュリティの現状と対策について
- ・ 農林業事業者への支援施策について
- ・ 市道6-9号線沿線の開発について

○伊藤 大 議員

(一括質問方式)

- ・ 市の財政状況（物件費）
- ・ 市の財政状況（人件費）
- ・ 市の財政状況（経常収支比率）
- ・ 市の財政状況（公共施設等総合管理計画）
- ・ 新規事業

3日目：6月13日（金）

○西山 正司 議員

(一括質問方式)

- ・ 5歳児健診について
- ・ 孤独・孤立対策について
- ・ 不登校児童・生徒への対応について
- ・ 観光戦略について
- ・ 校内給水器設置について

○関口 正司 議員

(一括質問方式)

- ・ 農業の再生を
- ・ 環境問題について
- ・ 訪問介護を守るため
- ・ 無料低額診療について
- ・ 投票率向上に

○横田 幸治 議員

(一括質問方式)

- ・ 選挙について

○神崎 誠司 議員

(一括質問方式)

- ・ 市政運営について

※一般質問通告書を基に作成しています。質問内容等は市議会HPの録画配信をご覧ください。



高橋 佑至 議員

録画配信



知る権利について

問 市長公用車の運行記録について詳細は公開できないのか。
(野口総務部長) 弁護士相談を含めて検討しています。

自治体運営について

問 市公式LINEを今後どのようなように使っていくのか伺いたい。

(岡野市長公室長) 市公式LINEは行政情報への入り口と位置づけ、できるだけ市ホームページに誘導して、そこから詳細な情報入手できるように運用をしています。主な情報発信の内容としては、イベント情

報をはじめとした利用者の皆さんの関心の高いと考えられる情報や、市から皆さんに知っていただきたい情報などを取り上げています。また、災害情報など緊急性の高いものをいち早くお知らせできるように、防災行政無線と連動した情報発信に取り組んでいます。このほかにも、ごみ・資源の収集日をお知らせする機能を取り入れ、利用者の利便性の向上を図っています。

問 電子自治体を推進するために、若手職員によるプロジェクトチームを立ち上げたり、地域コミュニティ協議会、執行部、議会が学べるようなサロンを開くことはできないのか。

(野口総務部長) 先進的な取組をしている自治体等を参考にし、市民サービスの向上、業務の効率化等を図るために、DX推進に取り組んでいきます。



鈴木 康弘 議員

録画配信



市政運営について

問 現職議員が市長の後援会に献金しているような密接な関係の中で、二元代表制が担保され、市政運営が公平公正に行われているのか。

(野口総務部長) 二元代表制は、議会の議員と長がともに住民の選挙によって選出され、両者が対等の関係に立って自主性や独立性を保ちつつ、その機能を発揮するものであり、相互の抑制と調和による地方自治の適正な運営に資する制度です。なお、後援団体への寄附については適法なものであり、二元代表制に反するものではないと認識をしています。

予算について

問 経常収支比率が、九十四・一パーセントと鹿行五市の中で一番悪いように見受けられるが、市はどのように認識し、どのような対応策を考えているのか。

(石川副市長) 神栖市には特殊要因があり、震災復興特別交付税を加味して計算した場合、経常収支比率は八十八・三パーセントとなり、鹿行地域で一番低い行方市とほぼ同率となり、県内でも六番目に低い状態で健全であると考えています。なお、固定資産税に関しては、企業等の設備投資に係る新規投資額は過去九年间で六千億円以上となっており、非常に活発な企業活動がなされているため、今後、収入の確保も期待されています。





鈴木 洋美 議員

録画配信



学校における防犯対策について

問 不審者マニュアルの整備と運用について、現状の認識と今後の取組について伺いたい。

(新井教育部長) 各校で児童生徒の安全確保に関して危機管理マニュアルを作成し、毎年、教職員間やPTAを交え、見直しや改訂を行っています。年度初めには、全教職員でマニュアルの読み合わせを行い、実際に起きた場合の避難誘導の方法や職員の役割分担の確認を行うなど、共通理解を図っています。今後とも、関係機関、PTA、地域の方々にご協力をいただきながら、防犯体制の一層の充実を図っていきます。

問 スクールロイヤールの導入に関して市の考えを伺いたい。

(新井教育部長) 市では、スクールロイヤールを配置していませんが、学校からの要請に応じ、県派遣のスクールロイヤールを活用することで、必要な法的支援を提供しています。市におけるスクールロイヤールの必要性については、学校が抱える不安を軽減し、安心して教育活動に専念できる環境づくりのため、学校が実際にどのような法的支援を求めているかの課題を把握し、今後、導入の可能性について調査検討をしていきます。

高齢者支援について

問 身寄りのない高齢者の方への終活支援や死後の支援について、今後、どのような取組を考えているか。

(石田市長) エンディングノートを多くの市民の手に取ってもらえるよう、公共施設や医療機関等に設置、市ホームページの掲載等の普及に力を入れた取組を行い、高齢者への終活支援や死後の支援に努めていきます。

児童の安全対策について

問 夏季の酷暑期における、スクールバス導入に対する市の見解を伺いたい。

(新井教育部長) 全小学校を対象とした場合、同一の時間帯や複数系統における運転手やバス台数の確保、車種の検討、地域によっては交通量が多い場所や道路幅が狭い場所など、運行経路の管理、安全な乗降場所が確保できないなど様々な課題があります。各小学校においては、登下校時の暑さ対策として、児童の健康と安全を第一優先に、環境や個々の事情を十分考慮しながら、適切な服装や暑さ対策グッズの活用など様々な取組を行っています。



山中 要 議員

録画配信



問 目の前にある危険から子どもたちを守るための、暑さ対策や安全確保の施策について伺いたい。

(新井教育部長) 熱中症対策について、環境省及び文部科学省が作成した学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引きに基づき、各学校ごとに作成した危機管理マニュアルの中に盛り込み、体制整備を行っています。各校においては、児童生徒に涼しい服装や帽子の着用、適切な水分補給について指導をしています。また下校時の校庭における集合時の暑さ対策として、暑さ指数などから判断し、集合場所を校内、あるいは日陰となる場所にするなど、校庭での待ち時間を短くするために教室を出る時間を学年で揃えるなど、各校の実態に合わせた対応をしています。そして今後も、発生後の対応だけでなく、熱中症の未然防止に向けた取組を各学校の実態に合わせて進めていきます。





遠藤 貴之 議員

録画配信



合併二十年を振り返って

問 合併のメリットと言われた大規模償却資産分の固定資産税と合併特例債について、これまでの活用状況等について伺いたい。

(石田市長) 大規模償却資産税分の固定資産税は、合併によりほぼ全額が市の税収となり、市民の皆さんのサービスの維持、向上に充てるということが可能となりました。持続的、安定的な自治体経営を行っていく上で、財政面での大きなメリットでした。合併特例債の活用状況ですが、起債発行可能額の二百五十一億八千八百万円に対して、第二学校給食共同調理場、はさき火葬場、波崎小学校体育館耐震化事業など、借

入額は四十二億八百万円です。発行可能額に対する割合は十六・七パーセントで、県平均の七四・一パーセントを大きく下回り、県内最下位です。

問 アリーナの建設によるPFI事業とPFI方式というのはどういうことであったのかということを確認と、市の見解を求めたい。

(石川副市長) PFI方式を導入することによるメリットには、民間事業者の経営ノウハウや技術力を活用すること、より質の高い公共サービスの提供が期待でき、資金面においては、行政は建設時に一度に資金を支出する必要がなくなります。デメリットは、民間事業者が負担する入札コストが多額になること、緊急性の高い事業には不適であること、金融機関の融資を活用することから金利が割高になるおそれがあることなどが挙げられます。市においては、建設時にPFI方式のメリットを期待し、導入しましたが、導入時に設定した十五年という期間に比べ、償還年数の長期の起債を活用したほうが財政負担の平準化が図られたのではないかと考えています。



小野田トシ子 議員

録画配信



高齢者の利用しやすい交通手段の確保について

問 免許返納後の生活に不安を抱える方が多いエリアについて二つのエリアの登録を可能とし、一日に使えるのは一エリアとする考えと、越境利用や広域デマンド便など利便性向上に向けた考えを伺いたい。

(加瀬企画部長) 複数のエリアで利用できるようにすることは、公平性等の観点からも慎重に検討する必要があります。また、広域運行については、運行経費等の観点や既存交通との競合を考慮し、市のコミュニティバスや路線バス等をご利用いただければと考えています。

問 地区加入による魅力ある特別カードの存在や地区加入のメリットなどアピールが必要と思うが、目的を推進するための施策について伺う。

(石田市長) 特別カードの令和七年度の新しい取組について、地区加入世帯の特典として毎年付与している五百ポイントを、市制施行二十周年記念として、一年間限定で千ポイントを付与する施策を実施します。今後も、引き続き地区活動の活性化を図るために、様々な施策を構築したいと考えています。

デフリンピック支援と共生社会の推進について

問 共生社会の構築や気運醸成のため、知名度の低いデフリンピックの啓発活動についての取組みを伺いたい。

(浅野福祉部長) デフリンピックがもたらす学びや気づきを広げるため、市内の公共施設へポスターを掲示、広報紙やSNS等を活用した情報提供を行い、関係団体とも連携しながら啓発、機会の創出に努めます。



遠藤 美子 議員

録画配信



奨学金返還支援制度の導入について

問 介護職の人材確保の現状と課題について伺いたい。

(浅野福祉部長) 全国的にも現在働いている職員の高齢化が進む一方で、若い世代の職員確保が難しい状況であり、人材の確保が課題となっています。

問 福祉人材の定着のために、奨学金返還支援制度の導入を検討する考えはあるか。

(浅野福祉部長) 制度の導入については、今後、他市町村の動向を注視していきます。

介護支援専門員の負担軽減について

問 資格更新費用を助成する考えはあるか。

(石田市長) 将来的には介護支援専門員が不足するおそれがあるため、更新研修費用の助成について検討します。

健康寿命を支える「歯と口の健康」の推進について

問 歯周病検診の啓発方法について伺いたい。

(野口健康増進部長) 広報紙やホームページでの周知のほか、全世帯への健診パンフレットの配布、対象者への受診券の送付と併せて歯周病菌の影響で歯が抜けてしまったり、悪化すると全身に悪影響を及ぼすことなどの周知を行っています。今後も認知度向上のため、さらなる周知に努めていきます。



山本 実 議員

録画配信



職員のメンタルヘルスについて

問 気軽に相談できる体制づくりについて伺いたい。

(野口総務部長) 市では産業医による職員の健康相談や面接指導等を実施しており、様々な不安や悩みに関することなど幅広い相談に対応しています。また、専門のカウンセラーによる相談も実施し、職員の健康を保持するための措置として充実した体制整備に努めています。



情報セキュリティの現状と対策について

問 情報が流出してしまった場合の対応について伺いたい。

(野口総務部長) 情報セキュリティ緊急時の対応マニュアルに沿って被害拡大防止のための応急措置を取るとともに、事故が発生した原因や影響範囲について調査します。また、国等の関係機関への報告と公表の準備を進め、復旧措置や再発防止策等を検討することとなります。

会計年度任用職員の採用など現状と改善について

問 働きやすい職場にするためにも実態調査などが必要ではないか。

(保立教育委員会次長) 会計年度任用職員が人間関係の不和や、業務において疲弊するなど、問題が生じた場合には、人事評価や面接を行い、抱える悩みや困り事を聴き、状況を把握した上で、担任教員、管理職と連携し、適切な配置に努めています。



伊藤 大 議員

録画配信



市の財政状況（物件費）について

問 物件費が高くなっている要因として、はさきマリンプールとはさき保健・交流センター開設をあげているが、それぞれの運営費と建設に要した金額はいくらか。

（石川副市長） 維持管理費について、はさきマリンプールは、年間八千七百万円ほどとなっており、はさき保健・交流センターは、年間四千八百万円ほどとなっております。

（加瀬企画部長） 建設費は、はさきマリンプールは約十二億四千万円、はさき保健・交流センターは約十六億六千万円です。

市の財政状況（人件費）について

問 平成三十年度を境として職員数が増加しているが、借入金返済のピークである令和十三年度の人件費と五年度からの増加額はいくらか。

（加瀬企画部長） 人件費の見込額は、令和十三年度は五十九億九千九百九十一万一千円となり、五年度決算と比較しますと、二億八千五百九十六万二千円増加する見込みです。

市の財政状況（経常収支比率）について

問 借入金返済のピークである令和十三年度までに、人件費や敬老祝金なども増加していくものと思われるが、その時の経常収支比率は？

（加瀬企画部長） 令和五年度の経常収支比率を基に試算すると、九十九・二パーセントになります。



西山 正司 議員

録画配信



五歳児健診について

問 五歳児健診の市の取組状況について伺いたい。

（野口健康増進部長） 現在、国の方針を踏まえて、健診の実施方法や健診後のフォローを含めた体制整備について、国や県の研修会に参加し、情報収集に努めるとともに、先行して実施している自治体の取組等も参考に検討しています。

不登校児童・生徒への対応について

問 市の対応や今後の対策について伺いたい。

（木之内教育長） 定期的なアンケートの実施やスクールカウンセラー等へ相談体制の整備、校内オンライン相談窓口を設置などに取り組んでいます。また、学校内に不登校対策のチームを組織し、早期発見や情報共有をし、迅速かつ継続的な対応ができるよう、学校と家庭、外部機関等が連携し、安心して生活を送れるように努めています。

校内給水器設置について

問 市として給水器設置の考えはあるか。

（保立教育委員会次長） 他自治体での取組事例等を参考にし、昨今の熱中症対策や感染症予防などの状況を踏まえ、調査研究していきます。





関口 正司 議員

録画配信



農業の再生を

問 米の自給率向上のために、家族農家を守り、農業従事者を増やすためどんな努力をされたか。

(西廣産業経済部長) 持続可能な農業の実現に向け、生産安定を推進する環境制御の導入推進や化学農薬等の削減を推進し、農業者の所得向上につながるよう支援しています。

環境問題について

問 温暖化防止のためエネルギーの節約はどうされたか。また再生エネルギーのその後の状況はどうか。

(石田市長) 使用電力量の一部を再生可能エネルギーとすることで、温

室効果ガスの削減に努めており、当市における再生可能エネルギー導入状況は高い水準で推移しています。

訪問介護を守るため

問 訪問介護の状況についてと、ヘルパー不足対策について伺いたい。

(浅野福祉部長) 訪問介護職員の高齢化が進む一方で、若い世代の職員の確保が難しい状況であるため、介護職への興味を喚起し、人材確保を進めていきます。

投票率向上に

問 投票率の低い原因は何か。また参議院選挙対策や、時間短縮は何故か伺いたい。

(野口総務部長) 原因は、若年有権者の政治・選挙離れなど、様々な要因が影響したと考え、今後も投票率向上に有効な投票環境の整備に取り組んでいきます。時間短縮については、投票に支障をきたすことなく対応し、有権者の利便性の向上や投票機会の確保がされていると認識しているためです。



横田 幸治 議員

録画配信



選挙について

問 選挙当日の投票所にかみす防災アリーナなどを増設する考えはあるか。

(野口総務部長) 投票所を増設するためには、経費の面だけでなく人的体制や投票所となる場所の安定的な確保など、課題が多いことが現状です。市においては、地区要望や有権者の利便性などを考慮し、必要に応じて投票所の変更を行いながら、今後も三十五か所の投票所設置の維持に努めていきます。



問 期日前投票所を増設する考えはあるか。

(野口総務部長) 常設の期日前投票所を増設するためには、選挙事務に精通した職員を常時配置しなければならず、現行の選挙管理委員会の人員では大変厳しいものと考えています。

問 共通投票所制度を導入する考えはあるか。

(野口総務部長) 将来的にやむを得ず投票所を縮小した場合には、選挙人の投票に支障をきたす恐れもあるため、投票所の縮小と併せて共通投票所の導入が必要となってくるものと考えています。

問 選挙割りを行う考えはあるか。

(野口総務部長) 投票済み証明書に基づきサービスが目的化してしまうことにより、利益誘導や買収に利用されるおそれが懸念されることから、選挙管理委員会が主導的に推奨、実施することは適切ではないものと考えています。



神崎 誠司 議員

録画配信



市政運営について

問 市政運営について、市長就任当初からの取組と成果について伺いたい。

(石田市長) 様々な取組みの中で、津波対策として、舍利浜地区で、避難施設となる高台の整備を令和八年一月の完成を目指して鋭意進めています。このほか、総合防災訓練として、地震と洪水を想定した避難訓練を中学校区単位ごとに年二回、自衛隊、消防、警察、民間ボランティア等の協力をいただきながら実施し、来年三月には、市内全域を対象とした津波避難訓練も予定しています。このように、様々な角度から地域防災力の向上につながる取組に努めて

きましたが、今後もさらに災害に強いまちづくりを市民の皆さんと共に推進していきます。

(藤枝医療対策監) 診療所の誘致については、増減を経まして平成二十九年度の二十六施設から現在の三十一施設まで増加しました。医師確保については、人口十万人当たりの医師数は、鹿島労災病院廃止後の令和二年の八十八人から七年五月には百十九・九人まで三十一・九人増加しています。

問 市政運営について、現時点での課題や今後の目標について伺いたい。

(石田市長) 医療体制については、医療資源を確保するのに非常に苦労しているため、病院側、茨城県と向き合いながら、支援したいと思っています。鹿島港の振興については、企業の皆さんに立地しやすい環境をつくるため、東関道の延伸、鹿行南部道路とベクトルを合わせて、この地域の発展に必要な陳情等、私の経験を最大限に生かしていきます。

【一般質問とその方式について】

議員が本会議において市政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況や将来に対する方針などについて見解を求めることです。本市議会では、3月、6月、9月、12月の各定例会において行われており、その様子は、議会ホームページにおいても視聴できます。

当市議会では、以下のように方式が分かれており、議員が選択する方式により行われます。

○ 一括質問方式

議員がすべての大項目の質問事項について最初に一括して質問を行い、執行部がそれぞれの質問に対して順に一括で答弁を行う。必要があれば2回まで再質問をすることができ、同様に答弁を行う。質問時間は40分以内となっている。

○ 一問一答方式

議員が1つの質問事項（小項目）について質問を行い、執行部がその質問に対して答弁を行う。必要があれば再質問をすることができる（質問回数に制限はない）。1つの質問事項が終了したら、次の質問事項の質問・答弁を順に行う。質問時間は答弁時間も合わせて60分以内となっている。

○ 分割方式

議員が1つの大項目の質問事項について質問を行い、執行部がその質問に対して答弁を行う。必要があれば大項目ごとに2回まで再質問することができ、同様に答弁を行う。1つの大項目の質問事項が終了したら、同様に次の大項目の質問事項の質問・答弁を順に行う。質問時間は40分以内となっている。

委員会での主な質疑内容

本会議において十件の議案等が所管の常任委員会に審査付託となりました。慎重審査の結果、最終日の本会議において、八件の議案は原案のとおり可決すべきものに、議案第五号は否決すべきものに、請願第二号は採択すべきものと報告されました。

◆総務産業委員会

(須田 光一委員長)

〔議案第一号〕

問 職員の有給休暇は、一人平均で年間どのぐらい取得しているのか。

答 直近で十五日です。

〔議案第九号〕

問 立会人の受け手が少なくなっているこの状況の打開策は何かあるのか。

答 現時点では、最初から半日でお願いするというよ

うな運用はしていませんが、今後は幅広く運用していけるようにしていきたいと思っています。

〔議案第十号〕

問 ポスター掲示場を設置後、職員が検査をしているのか。

答 設置後の確認については、設置業者より、設置前後の写真の提出を受け、検査をしています。

問 掲示版の設置箇所や箇所数について見解を伺いたい。

答 できる限り分かりやす

い位置に設置しながら、現行の法定数を維持できるような形で、今後も努めていきたいと考えています。

◆都市環境委員会

(幸保 正東委員長)

〔議案第四号〕

問 市道八―四一九号線の払下げの経緯を伺いたい。

答 道路の隣接所有者から、駐車場として一体的に使用したいという申し出があり、道路の現況や使用状況等を勘案し、払下げの協議を進めてきました。

問 払下げた道路は、今後どのような使い方になるのか。

答 払下げを行った道路については、駐車場として使うなど申出者の使い方によります。

◆予算決算常任委員会

(神崎 誠司委員長)

◆総務産業分科会

〔議案第二号〕

問 統計上、今後高齢者が増えていくが今年度神栖市地域公共交通計画を見直すに当たっての市の所見を伺いたい。

答 今後、免許返納する高齢者が増えていく中で、今の状況では十分ではないというところを認識していますので、これからの計画の見直しに反映をさせていきます。

問 医師修学資金貸付金は現在、何人が利用しているのか。

答 市内勤務の医師が五人、市外研修中の医師が五人、その他学生等が十人です。

問 公共交通について、今後人口減少が進んでいく中でそれに耐え得るための将来的な計画があるのか。

答 神栖市都市計画マスタープランの中では、コンパクトシティとして、生活拠点や都市機能がある程度集約した形で、市民の方が移動できるための交通手段を確保するのが公共交通という考え方であり、今後の都市計画とあわせて進めていきたいと考えています。

〔議案第十一号〕

問 カーナビ機能だけを残し、テレビ受信機能だけを切るのはできないのか。

答 アンテナを外せば受信料がかからない旨の回答がNHKからありましたので、不必要なものに関してアンテナを外すよう各課に依頼しています。

土地の取得が可決

－賛否分かれる－

争点

【議案第5号】 ー概要ー

鹿島共同再資源化センターの土地を災害廃棄物仮置場用地として、取得価格1億8,018万9,120円で取得するため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（昭和39年神栖村条例第6号）第3条の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

令和7年6月10日 提出

（一部抜粋）

※議案参考資料はP15

（経緯）

本定例会に上程された議案第5号の土地の取得について、都市環境委員会に付託され、17日開催の委員会では、会期中に結論が出せないため継続審査となった。この継続審査の申出に対し最終日の本会議では**継続審査を否決**、再度、委員会での審査となった。

本会議を中断し、直ちに同委員会が開催され、「土地購入の理由や経緯」、「鹿嶋市との協議」といった点が論議の対象となり、慎重審査の結果、委員会として否決すべきもの、として結論が出された。

その後の本会議で、賛成・反対討論が行われたのち、起立採決の結果、賛成多数で**可決**となった。



起立採決の様子

（賛成 **12人**・反対 **10人**）

（令和7年第2回定例会 閉会日）

【討論】

賛成討論として、遠藤貴之議員が、反対討論として、高橋佑至議員、伊藤大議員がそれぞれの立場で意見を述べました。

反対



高橋佑至 議員

反対討論：

高橋 佑至 議員

「土地購入に関する経緯について、執行部答弁の一貫性が無い。また、将来的な運営方針を鑑みると、鹿島地方事務組合での取得を検討すべきではないか。」

※発言要約

反対討論：

伊藤 大 議員

「土地取得にかかる経緯の不透明さ、また、市の財政への影響などを鑑み、いまのタイミングで契約すべきではないと考えるため、土地の取得に反対する。」

※発言要約



伊藤 大 議員

賛成



遠藤貴之 議員

賛成討論：

遠藤 貴之 議員

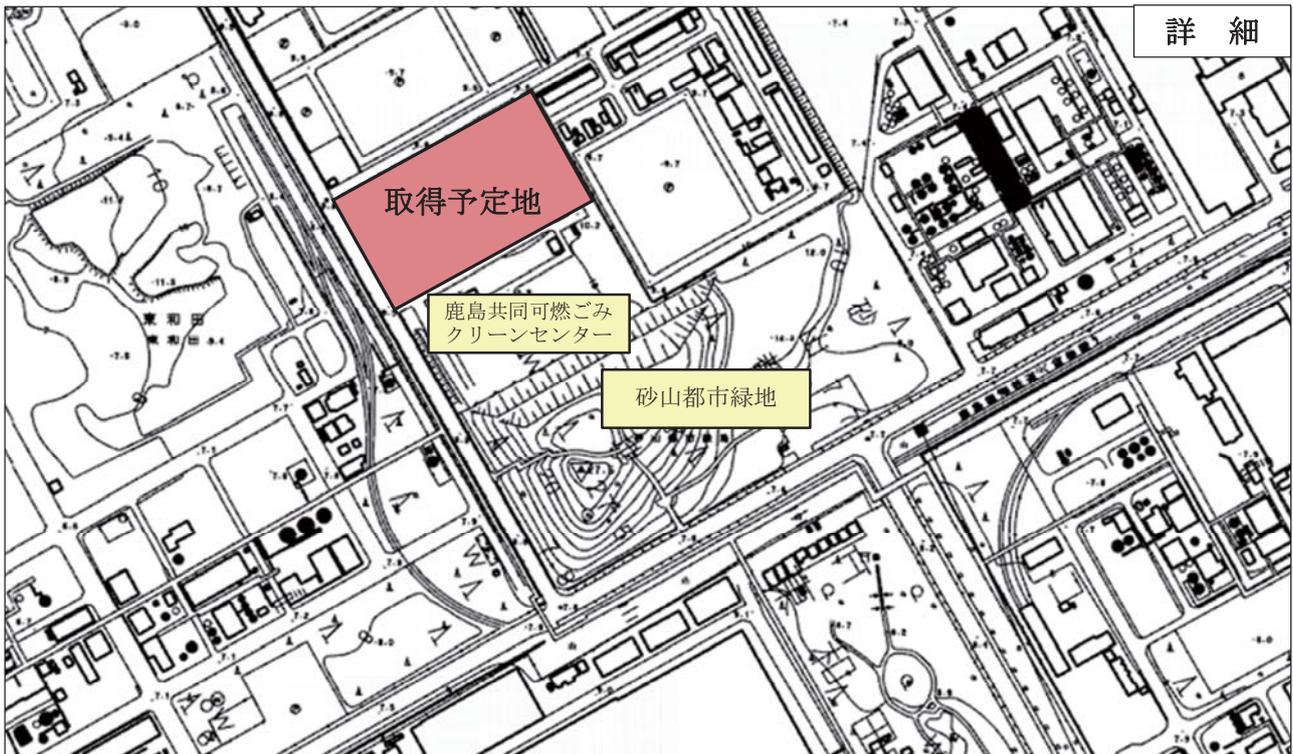
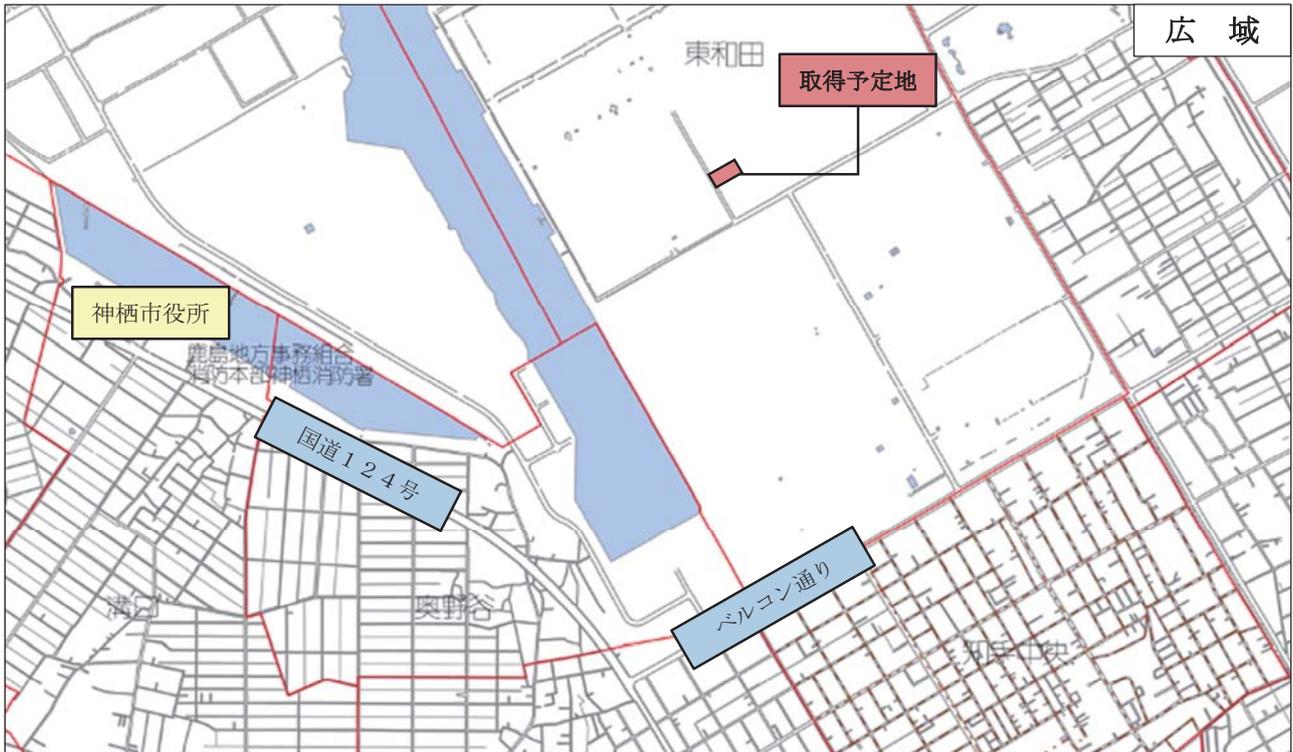
「土地取得については、示された手続きに基づいたものであり、正当な理由を持った土地の取得であるため、土地の取得に賛成する。」

※発言要約

取得予定地概要

所在	地番	地目	地積	
			公簿面積	取得予定面積
神栖市東和田	21番3	宅地	15,015.76㎡	15,015.76㎡

位置図



委員会が行政視察を実施

■農林水産行政、商工観光行政について視察 = 総務産業委員会

5月20日から22日の日程で、総務産業委員会で佐賀県唐津市と長崎県島原市を訪問しました。唐津市では、完全養殖により生産されたブランド魚「唐津Qサバ」の取り組みを視察。産学官連携による高品質な水産物の安定供給と地域活性化の仕組みを学びました。島原市では、映画やCMなどの撮影誘致を通じた観光振興「ロケツーリズム」施策を調査。市長の強いリーダーシップのもと、撮影支援体制や企業版ふるさと納税の活用により、持続可能な地域振興を実現していました。



参加議員：須田光一委員長、山中要副委員長、五十嵐清美委員、西山正司委員、高橋佑至委員、石井由春委員、額賀優議長

■福祉行政、教育行政について視察 = 教育福祉委員会

5月20日から22日の日程で、北海道石狩市の「石狩市手話基本条例推進の取組について」について、登別市の「登別市小中学校英語教育推進プログラムについて」について視察を行いました。石狩市では、手話言語条例の制定をきっかけに、障害の有無に関わらず、すべての人が安心して暮らせる共生社会の実現に向けた様々な取組が積極的に進められていました。登別市では、小中学校における英語教育推進プログラムを通じて英語は身近であると考え、観光面では一人一人が観光親善大使を目指した先進的な取組が行われていました。



石狩市：手話通訳士から手話を教わる様子



参加議員：小野田トシ子委員長、飯田耕造委員、関口正司委員、遠藤貴之委員、神崎誠司委員、鈴木洋美委員

■生活環境行政、土木行政について視察 = 都市環境委員会

5月14日から16日の日程で、都市環境委員会として、愛知県半田市および三重県松阪市へ視察に伺いました。半田市では、畜産臭気やごみの減量、農業振興といった地域課題と、施設園芸におけるエネルギー確保という企業課題を、官民連携により解決する「バイオマス産業都市」の取組を学びました。排熱・排ガスを活用した循環型の農業が実践され、甘みのある高品質なトマト栽培が行われています。また、松阪市の総合運動公園では、子どもから高齢者までが気軽に利用できる施設として整備されており、災害時の避難拠点としての機能も備えています。スケートパークでは、専任職員が常駐し、安全管理が徹底されていました。



ビオぐるファクトリー半田の施設職員より説明を受ける様子

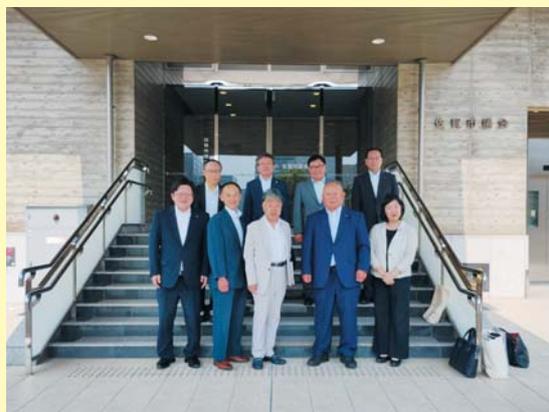


松阪市総合運動公園について説明を受ける様子

参加議員：幸保正東委員長、鈴木一史副委員長、後藤潤一郎委員、境川幸雄委員、遠藤富美子委員、額賀優議長

■議会運営について視察 = 議会運営委員会

令和7年7月2日から4日の日程で、長崎市議会および佐賀市議会を訪問し、議会中継の運用体制や政務活動費の透明性確保、党派制度の実情等について調査を行いました。その中で、市民への情報発信や参加促進の先進事例を確認し、当市議会運営の改善に活用すべき多くの示唆を得ることができました。より良い、議会運営を目指していくにあたり、非常に有意義な研修となりました。



参加議員：境川幸雄委員長、遠藤貴之委員、高橋佑至委員、小野田トシ子委員、神崎誠司委員、額賀優議長

議員研修会を実施しました

5月17日、神栖市役所にて議員および幹部職員を対象とした合同研修会が行われました。今回の講師は、取手市情報管理課長の岩崎弘宜氏。議会事務局職員として27年にわたり実務を積み、現在は複数の自治体で議会改革アドバイザーを務めるほか、専門誌への寄稿や研修講師としても幅広く活躍されている方です。

研修では、議会改革の最新動向や、議員と執行部との信頼関係の築き方、答弁の在り方、反問権の考え方、調査・検討機能の強化、情報共有の重要性などが具体的な事例を交えて語られました。特に、ネット中継を通じて市民の目にどう映るか、言葉遣いや振る舞いに対する意識の重要性についても言及があり、日常の議会活動を見直すきっかけとなる内容でした。今後も議会の質を高めるため、学びを深めてまいります。



講師の岩崎先生は現役の取手市職員

【参加した議員の感想】

「今回の研修を通じて、一般質問の意義や質疑の構成、そして「市民にどう見られているか」という視点の重要性を改めて実感しました。傍聴や中継を通じて届く言葉一つ一つが市民に与える影響を意識し、議員としての責任を再認識する機会となりました。今後も分かりやすく、意味のある議論を重ねていきたいと思っております。」



参加議員：山中要議員、鈴木洋美議員、横田幸治議員、遠藤富美子議員、幸保正東議員、山本実議員、神崎誠司議員、小野田トシ子議員、額賀優議員、高橋佑至議員、西山正司議員、鈴木康弘議員、遠藤貴之議員、五十嵐清美議員、関口正司議員、飯田耕造議員

～表彰状の贈呈～

全国市議会議長会、茨城県市議会議長会から次の方々に表彰状が贈られました。
いずれも永きにわたり、市政の振興に努められた功績が認められたものです。
誠におめでとうございます。

全国市議会議長会表彰状



受賞者は左から 境川幸雄議員（議員10年）、五十嵐清美議員（議員20年）、
飯田耕造議員（議員20年）、後藤潤一郎議員（議員20年）、鈴木康弘議員（議員10年）。

茨城県市議会議長会表彰状



受賞者は左から 飯田耕造議員（議員20年）、五十嵐清美議員（議員20年）、
後藤潤一郎議員（議員20年）。

市議会のうごき

(令和7年6月～8月)

6月

- 2日 議会運営委員会
- 10日 議員協議会、議会運営委員会
第2回定例会開会
- 11日 一般質問
- 12日 一般質問
- 13日 一般質問
- 16日 議案質疑
- 17日 総務産業委員会・分科会
都市環境委員会
教育福祉委員会
- 24日 予算決算常任委員会
議会運営委員会
都市環境委員会
第2回定例会閉会

7月

- 2日 議会運営委員会行政視察
↳ 長崎県長崎市、佐賀県佐賀市
- 4日
- 7日 茨城県市議会議長会視察研修
↳ 栃木県宇都宮市
- 8日
- 11日 茨城県東市議会議長会定例会
- 29日 議会だより編集委員会
- 31日 鹿行広域事務組合議会議員全
員協議会、臨時会

8月 (予定)

- 26日 議員協議会
- 27日 第20回全国市議会議長会
↳ 研究フォーラム
- 28日

表紙の写真等募集中

神栖市議会では、議会だよりの表紙の写真やイラストを募集しています。テーマは、神栖にゆかりのあるものです。詳細は神栖市議会ホームページをご覧ください。

お知らせ

右の予定表は令和7年第3回定例会(9月)の議会予定です。変更になる場合がありますので、議会の傍聴を希望される方は事前に事務局にご確認下さい。

次回の9月議会予定

期日	曜日	日程(案)
16日	(火)	本会議(開会、提案理由説明)
17日～19日	(水)～(金)	本会議(一般質問)
20日～21日	(土)～(日)	休会
22日	(月)	本会議(議案質疑)
23日	(火)	秋分の日
24日	(水)	本会議(議案質疑)
25日～26日	(木)～(金)	休会(各常任委員会、予算決算常任委員会分科会)
27日～28日	(土)～(日)	休会
29日～ 10月2日	(月)～(木)	休会(議事整理)
3日	(金)	予算決算常任委員会 本会議(委員長報告、討論、採決、閉会)

編集委員会では、議会や本紙に対する皆様のご意見・ご要望などをお待ちしております。

〒314-0192
神栖市溝口4991-5
神栖市議会事務局
電話 0299-90-1172(直通)
Eメール: gikai@city.kamisu.ibaraki.jp

神栖市議会だより編集委員会
委員長 山中 要
副委員長 遠藤 富美子
委員 鈴木 康弘
〃 鈴木 幸保
〃 鈴木 洋美

残暑が続く中、皆さまいかがお過ごしでしょうか。今号より「議案等議決結果一覧」や「一般質問」のページを見やすくリニューアルしました。市民の皆さまにとって、議会の動きを身近に感じられる紙面を目指しております。今後もお気づきの点やご意見がありましたら、ぜひお寄せください。
(山中 要)

編集後記